

ユニタール協会 創立一周年へ

皆様のお力添えにより、2019年10月に国連ユニタール協会が設立され、このたび初のニュースレターを発刊することができました。当協会の活動や今後の予定、応援して下さる皆様の声などを定期的にお届けして参りますので、ぜひご覧ください。

ユニタール本部との協力覚書締結や法人としての諸手続きを経て、国連発足75周年の今年、当協会はいよいよ動き出しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、思わぬ形で対面式の事業は実施を見送ることと相成りましたが、オンラインでのセミナーやSNSでの交流などに切り替えたと、国内外の延べ約600名の皆様と、国際社会の課題やユニタールの取組について一緒にお考えいただく機会をもつことができました。セミナーを含め、オンラインでの発信をますます強化していくとともに、コロナ収束後を見据えて対面でのイベントなどについても企画を深め、準備していく所存です。

10月には設立一周年を迎えます。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



役員が松井 一實広島市長を表敬訪問(2019年10月)(左上) | 覚書締結後の設立記念祝賀会にて、広間県の湯崎英彦知事によるご挨拶(2020年2月)(右上) | 同会にご列席いただいた皆様(2020年2月)(下)

協会ロゴ決定



当協会のロゴマークを公募し、コンペティションにより静岡県静岡市のグラフィックデザイナー天野穂積さんによる作品が公式ロゴとして決定しました。原爆ドームをイメージした中央の白い部分を、羽ばたく鳩に重ねた人の手が包み込むデザインで、平和な未来をつくり、メッセージを世界に届けるという思いを表現したそうです。そのコンセプトが評価され、総合力で他の作品を上回りました。バナーなどにロゴを使用されたい場合は事務局までお問い合わせください。

お知らせ

《理事会》

- 2019年10月29日 第1回理事会。事業計画や規程を承認。
- 2020年6月12日 コロナ対策によりオンラインでの理事会。19年度の事業・会計報告。

《社員総会》

- 2020年1月18日 社員総会。湊晶子理事の選任、会費規程の承認。
- 2020年6月26日 コロナ対策のため書面での社員総会決議。19年度の事業・会計報告。

《今後の予定》

- 10月24日 第4回ITM公開セッション
国連ユニタール広島青少年大使最終プレゼンテーション
- 11月5日 第5回ITM公開セッション
- 11月上旬 賛助法人会員様向けSDGs研修
- 11月20日 第6回ITM公開セッション

CONTENTS

- P1 ... ご挨拶・協会ロゴ・お知らせ 他
- P2 ... ドキュメント8月6日
- P3 ... 現在の活動
- P4 ... SDGsリレー 他



ドキュメント:2020年8月6日

原爆投下から75年を迎えた2020年8月6日。平和記念式典は規模を縮小して開催されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響も深刻ではありましたが、その中でも何か発信し、共有できるすべはないかと多くの方が模索した結果、世界中の人がオンラインで広島の声に耳を傾け、核兵器のない世界の実現に向け思いを新たにする一日になったように感じます。

国連ユニタール広島事務所は、2003年に原爆ドームの目の前にオフィスを構えて以来、広島の歩みを共に学び、心からの平和への訴えを世界に届けてきました。8月6日は、私たちにとっても特別な日です。新たに設立された国連ユニタール協会も加わり、行動を呼び掛けるために奮闘したこの日についてまとめました。



公開討論会(2020年8月6日) | 国際連合事務次長・軍縮担当上級代表 中満泉氏(左上) | 元国際原子力機関(IAEA)上級職員 タリク・ラウフ氏(右上) | ANT-Hiroshimaインターン ヴィクトリア・クロップ氏(左下) | 国連ユニタール持続可能な繁栄局長 隈元美穂子氏(モデレーター)(右下)

中満泉国連事務次長ら専門家による討論会

核軍縮不拡散を促進するための展望について、オンラインでの討論会を開催し、日本を含め20か国から230名にご参加いただきました。コロナ禍で、発効から50年の今年予定されていた核拡散防止条約(NPT)再検討会議は延期され、二国間、多国間ともに交渉の機会自体が制限されるなど、課題が山積する中、国際連合事務次長・軍縮担当上級代表の中満泉氏、元国際原子力機関(IAEA)検証安全保障政策課長のタリク・ラウフ氏、ANT-Hiroshimaインターンでドイツの・エバーハルト・カール大学テュービンゲン大学院生 ヴィクトリア・クロップ氏が登壇。昨今の変化について指摘したうえで、各国がコロナ禍に対応していることを軍事費削減や軍縮の1つの好機ととらえられないか、などの議論がありました。オンラインでの機会が増え、75周年の今年は特に世界が広島・長崎を見つめていると発信。参加者からは難しい情勢にも核なき世界は実現できる、との回答が多く、未来に希望を感じさせるセッションとなりました。また、読売新聞やNHK、中国新聞等に取材していただきました。セッションの様子はホームページでご覧いただけます。

<https://www.unitar-ajp/disarmament-session/>

元青少年大使、世界へスピーチ

国連ユニタールなど国連機関の有志メンバーでつくる実行委員会*が、バーチャル原爆展 *Journey to Peace - 75 Years: Walking the Legacy of Hiroshima and Nagasaki* を開催しています。その開会式が8月6日に実施され、昨年度の国連ユニタール青少年大使の庄野愛梨さん、石橋二昂さんがスピーチを行いました。オンラインの原爆展では、原爆被害の写真や絵などが閲覧できるほか、自作の折り鶴の写真やハッシュタグとともにSNSでシェアしてバーチャル千羽鶴作成を目指す「#horizuru75プロジェクト」を展開しています。

*国連環境計画(UNEP)、国連人間居住計画(UN-Habitat)、国連ユニタール(UNITAR)などの機関の有志がボランティアで集うナイロビ原爆展組織委員会は、ニューヨークの国連本部、ジュネーブ、ウィーンの国連事務所に続き、ナイロビ事務所でも原爆資料の常設展示を実施することを目指し、活動しています。 <https://a-bombs-virtual-exhibition.weebly.com/>



グテーレス国連事務総長はこの日、ビデオメッセージを発表し、加盟国に「完全な核兵器廃絶につながる共通のビジョンと道程に戻る」よう呼び掛けています。

国際連合広報センター、「広島平和記念式典に寄せるアントニオ・グテーレス国連事務総長ビデオ・メッセージ(広島、2020年8月6日)」

https://www.un.org/ja/news_press/messages_speeches/sg/39192/ (2020年9月18日)より



Ideas That Matter シリーズ



SDGsを羅針盤に、新型コロナウイルス感染症により大きく変容する社会を共に生き抜く新たな手掛かりを探る公開セッションシリーズを、オンラインで開催しています。

初回は6月20日の「世界難民の日」に、当協会理事長で元国連大使の大島賢三が、「ゴール10(人や国の不平等をなくそう)に関連して「世界を覆うコロナ禍: アフリカ大陸、難民キャンプにもたらす影響」についてお話ししました。約70名にご参加いただき、「難民キャンプや格差など、コロナがによって新たに加速する問題がとてもよく理解でき、今から自分にもできることを考えていかなければと考えさせられました」などの反響がありました。

7月30日の国際フレンドシップデーには、「ジュネーブ・スタディー・ツアーVIAオンライン」を実施。ユニタール持続可能な繁栄局長代理マイケル・アデラ氏がジュネーブの文化や現状、国連機関について紹介し、約100名が参加されました。

前ページの通り、8月6日の公開討論会には、230名もの方に核軍縮不拡散の今後について一緒に考えていただきました。

「Ideas That Matter - 変化をもたらす新しいアイデアを発掘する」をキーワードに、今後も様々なテーマで専門家による講演を予定しておりますので、どうぞご参加ください。

写真は第1回セッション(2020年6月20日)(上) | 第2回セッション(2020年7月30日)(下)

国連ユニタール青少年大使



地元の高校生に国際社会で活躍する力を養う機会を提供しようと、国連ユニタール広島事務所が2011年から実施してきた「国連ユニタール広島青少年大使プログラム」。今年は同事務所と当協会の共催で行っています。多数の応募者の中から、広島県内の18校、24名の大使を任命しました。今年から大学生が年齢の近さや経験を活かしてサポートする「メンター制」も導入。大使は事前学習を経て、7月から持続可能な開発目標(SDGs)などについて、専門家によるオンラインでの学習やグループワークに取り組んでいます。海外の研修生との交流などを通じてさらに理解を深め、今自分たちに何ができるのか最終発表を10月24日に行います。次号で詳しくお知らせします。

高校生向けキャリアセミナー

突然の休校や自粛要請を受け、高校生のためのオンラインセミナーを2020年3月25日に開催しました。隈元美穂子国連ユニタール持続可能な繁栄局長が、国際社会とのつながりや、将来国連などで働くために求められることについて講演。約60名の参加者からは、「国や世界を動かしていく大きな仕事をしたい!」「自分の今の実力では無理だと思い、あきらめかけていた。でも、頑張ってみようと思った」(一部省略)などの声が寄せられました。当協会初のオンラインでのセミナーとなりましたが、国内外どこからでも参加できる利便性のみならず、自宅でリラックスして聴ける、チャットでの質問は気軽、といった声をいただくことができました。

毎日個別塾 **5-Days** ファイブ・デイズ

0120-935-472

受付時間: 13:00~22:00 (日祝除く・テスト期間中は開講)



SDGs リレー

企業の皆様のSDGsのための取組をオンラインで発信し、社会の連帯促進をねらう「SDGsリレー2020」を6月から始めました。取組やその効果、目標などを写真とともに、Instagram及びホームページで紹介しています。これまでに寄せられた15社のメッセージをご紹介します（HP掲載順）。



株式会社 5コーポレーション



大日本印刷株式会社 (DNP)



株式会社東広島タクシー



株式会社マエダハウジング

SDGsには、私たちが「コロナ後」目指すべく社会の姿をイメージするヒントがたくさん詰まっています。2015年に採択され、今年年1月には、SDGs達成のための「行動の10年 (Decade of Action)」がスタートしました。



株式会社 テレビ新広島



株式会社ラックス



学校法人永照寺学園
永照幼稚園



復建調査設計
株式会社



株式会社ソアラサービス

皆様の取組を当協会が集約してお知らせすることで、ご覧になった皆様が自らの環境で行いやすい方策を取り入れたり、より効果的な行動について意見を得られたりすることにつながればと考えております。2020年12月末までリレーを予定しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



ためま株式会社



NPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ



株式会社虎屋本舗



株式会社荒谷建設
コンサルタント



友鉄工業株式会社



広島信用金庫

ご支援ありがとうございます
2020年8月までに、次の法人の皆様が会員に加わっていただきました。
賛助会員・法人 〆申し込み順
株式会社5コーポレーション様
大日本印刷株式会社様
株式会社東広島タクシー様
株式会社テレビ新広島様
多くの皆様に個人として賛助会員に加わっていただいております。
また、次の皆様から、ご寄付を賜りました。
国際ソロプチミストアメリカ
日本西リジョン様
国際ソロプチミスト平和広島様
国際ソロプチミスト広島中央様
個人の方々からもご寄付をいただいております。心から御礼申し上げます。活動の充実に一層励んで参ります。

ご入会・ご寄付をご検討の方がおられましたら、お声掛けのほどよろしくお願いたします。また、イベント情報などを掲載しておりますので、ユニタールのメルマガ、協会のInstagram、ツイッターもご活用ください。

tssテレビ新広島

ETAXI

DNP
大日本印刷

毎日印刷

5-Days
ファイブデイズ

